



ファームウェアバージョン :	V4.16.B025	
ハードウェアバージョン :	DGS-3000-10L	B1
	DGS-3000-20L	
	DGS-3000-28L	
	DGS-3000-28X	
	DGS-3000-28LP	
	DGS-3000-28XMP	
	DGS-3000-28XS	
	DGS-3000-52L	B1/B3
	DGS-3000-52X	
発行日:	2024/4/18	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web GUI を使用するアップグレード	5
追加機能 :	8
MIB の変更点 :	8
コマンドラインインタフェースの変更点 :	8
修正した問題 :	8
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：V4.16.B025	2024/4/18	DGS-3000-10L	B1
		DGS-3000-20L	
		DGS-3000-28L	
		DGS-3000-28X	
		DGS-3000-28LP	
		DGS-3000-28XMP	
		DGS-3000-28XS	
		DGS-3000-52L	
		DGS-3000-52X	B1/B3

アップグレード時の注意事項：

ハードウェアバージョン：B3 をご利用の場合、R4.16.B007 より古いファームウェアにダウングレードすることはできませんのでご注意ください。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI（シリアルポート）](#)、もしくは [Web GUI](#) を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スイッチの RS-232C シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none

2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。
何も入力せずに「Enter」キーを 2 回押し、ログインします。

3. ログイン後、下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file < path_filename 64>}]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image <path_filename64> boot_up	Boot up イメージファイルを変更します。
reboot	スイッチをリブートします。
show switch	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。

- ※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1. ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3000-20L:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had
dest_file DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had dest_file
DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had
```

```
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... Done.
```

Success.

2. ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3000-20L:admin#config firmware image c:/DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had boot_up
Command: config firmware image c:/ DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had boot_up
```

Success.

3. スイッチをリブートします。

```
DGS-3000-20L:admin#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 再起動後、ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3000-20L:admin#**show switch**

Command: show switch

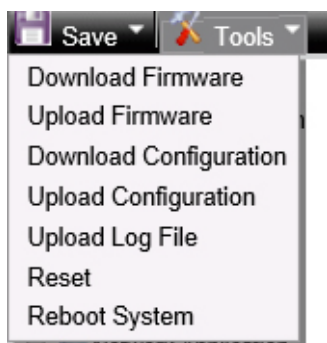
Device Type	: DGS-3000-20L Gigabit Ethernet Switch
MAC Address	: xx-xx-xx-xx-xx-xx
IP Address	: 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name	: default
Subnet Mask	: 255.0.0.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Boot PROM Version	: Build 3.00.001
Firmware Version	: Build 4.16.B025
Hardware Version	: B1
Serial Number	: xxxxxxxxxxxx
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 0 minutes, 48 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled
Telnet	: Enabled (TCP 23)
Web	: Enabled (TCP 80)
SNMP	: Disabled
SSL Status	: Disabled
SSH Status	: Disabled
802.1X	: Disabled
Jumbo Frame	: Disabled
CLI Paging	: Enabled
MAC Notification	: Disabled
Port Mirror	: Disabled
SNTP	: Disabled
HOL Prevention State	: Enabled
Syslog Global State	: Disabled
Single IP Management	: Disabled
Password Encryption Status	: Disabled
DNS Resolver	: Disabled

Web GUI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ-45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。
ダウンロードの方法は、「TFTP」「FTP」「HTTP」のいずれかを選択できます。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 以下の画面で、「Download Firmware From TFTP」のラジオボタンを選択します。
- ② 以下の画面で、必要項目を入力します。

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000_Bx_FW4_16_B025had)

<FTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 以下の画面で、「Download Firmware From FTP」のラジオボタンを選択します。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

Download Firmware

☐ Download Firmware From TFTP
☒ Download Firmware From FTP
☐ Download Firmware From HTTP

FTP Server IP:
 User Name:
 Password:
 Tcp Port (1-65535):
 Source File:
 Destination File:
☐ Boot Up

Download

FTP Server IP : FTP サーバの IP アドレスを入力します。

User Name : FTP サーバのユーザ名を入力します。

Password : FTP サーバのパスワードを入力します。

Tcp Port (1-65535) : TCP ポートの番号を入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのパスとファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had)

※ブートアップファイルに指定する場合は、「Boot Up」のチェックボックスにチェックをいれます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 以下の画面で、「Download Firmware From HTTP」のラジオボタンを選択します。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

Download Firmware

☐ Download Firmware From TFTP
☐ Download Firmware From FTP
☒ Download Firmware From HTTP

Destination File:
 Source File: 選択されていません

Download

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000_Bx_FW4_16_B025.had)

Source File : 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードするファームウェアを選択します。

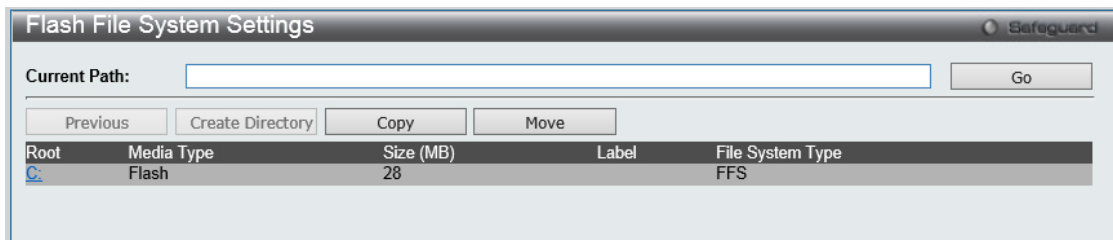
7. 「Download」をクリックします。

※「Download」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されますが、ステータス表示画面に遷移するまで数十秒程度時間を要する場合があります。そのままお待ちください。

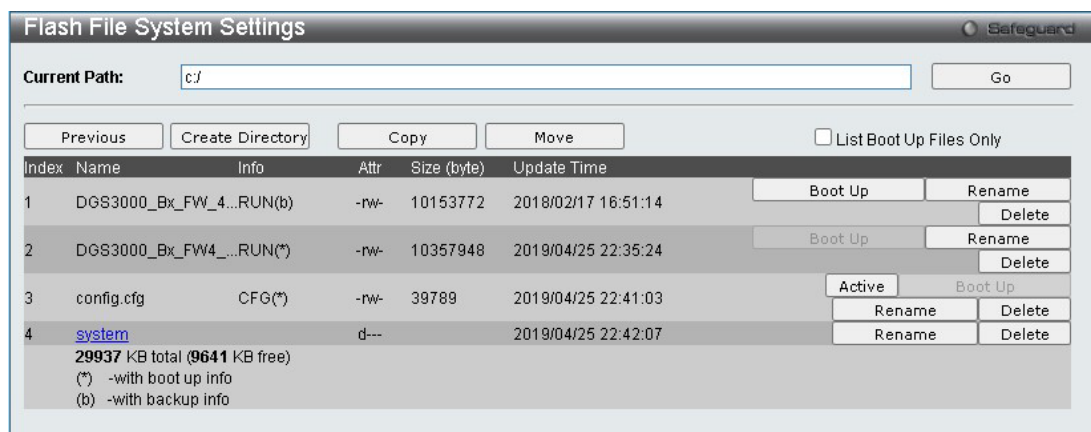
8. ステータス表示画面のステータス表示が 100%になり、ダウンロードが完了するまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。
 ※FTP サーバ経由でダウンロードした場合で、「Boot Up」のチェックボックスにチェックをいれた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」欄の「C:」をクリックします。
 または「Current Path:」に「C:/」と入力→「Go」をクリックします。



- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」をクリックします。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートアップファイルの指定に成功すると、成功を通知する画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V4.16.B025	特になし

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
V4.16.B025	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
V4.16.B025	特になし

修正した問題：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V4.16.B025	<ol style="list-style-type: none">IGMP/MLD Snooping 機能を有効にすると CPU 高負荷の状態になる問題を修正致しました。特定の SNMP リクエスト (OID : .1.3.6.1.2.1.4.34.1.3.2.16) により再起動することがある問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V4.16.B025	<ol style="list-style-type: none">一部の NTPv4 サーバについて、SNTP による時刻同期ができない場合がある問題。

Copyright 2006-2024 D-Link Japan K.K.